

邑(むら)の映画会実行委員会は、群馬県の「映像教育」の発展を目指し、世界で製作された多様な映画作品の上映やワークショップ活動を行っています。この会を通して、子どもたちが夢をふくらませ、映像文化によって心豊かな感性が育めることを願っています。



### キツネとウサギ

1973年/ロシア/12分/35mm/カラー  
監督/ユーリ・ノルシュテイン

キツネに家をとられてしまった、森のウサギ。力じまんの動物たちがウサギの家を取りもどそうとします。でも、オオカミもクマもウシもどうにもなりません。そこへ、小さなおんどりがやってきて、「ぼろしにしちゃうぞ!」と元気いっぱい、子どもたちは、ドキドキしながら応援します。ヨーロッパの民話を、なんとも愛らしく、ユーモラスに、民族的なタッチで描き、監督が世界で注目を浴びるきっかけになった作品です。

サグレブ国際アニメーション映画祭  
グランプリ ◎サユーズムリトフィルム



### アオサギとツル

1974年/ロシア/10分/35mm/カラー  
監督/ユーリ・ノルシュテイン

なかよしののに脚をあわせるとすぐにケンカをしてしまうアオサギとツル。ドキドキしたり、ブンブンしたり、かなしくなったり、うれしくなったり…。大好きなのに、いつも二人は行き違い。その表情を切り絵やセル画で少しずつ動かして表現したこの作品は、野原の草むらの風にゆれる音まで聞こえそう。ロシア民話をもとに、奥行きのある映像で、撮影台を移動しながら、透き通るように美しく描いています。

アヌシー国際映画祭審査員特別賞  
◎サユーズムリトフィルム



### 霧の中のハリネズミ

1975年/ロシア/10分/35mm/カラー  
監督/ユーリ・ノルシュテイン

森のハリネズミは、イチゴのジャムを持って仲良しのコグマの家へ遊びに行きます。野原は真っ白な霧、何も見えません。突然現れるコウモリやカタツムリ、大きな木、白馬…。子どもたちはドキドキしながら、森の不慮にであうでしょう。学校で、何度も見て、みんなで話し合い、たぐさんの森のお話が生まれました。「ハリネズミは旅にでたんだ」と、多感な子どもたちに見せたい不動の作品です。

テヘラン国際児童少年映画祭  
グランプリ ◎サユーズムリトフィルム



### 話の話

1979年/ロシア/28分/35mm/カラー  
監督/ユーリ・ノルシュテイン

灰色のおおかみのまなざしを通して、描かれるこの作品。なつかしくて、悲しくて、さびしくて、暖かくて、そう、いろいろな感情が近づいたり、遠ざかったりしているのです。誰の心の中にもある記憶のように。監督は、「幸せとは何かを永遠に記憶しなければならぬ。それは、平和な日々が毎日続くこと…」と願います。子どもたちは「いろいろな話がかみ重なっているようでした」と、世界中の人々に絶賛された監督の代表作です。

オタワ国際アニメーション映画祭  
◎サユーズムリトフィルム



### 眠る男

1996年/103分/35mm/カラー  
監督/小栗康平

自然と人のありようを静かにゆっくり紡いだ時間が、慌しく流れ今この瞬間に、問いかける。人と人がかかわって心豊かに生きることを描くこの作品は、監督の言う、「映画は夢…」に他ならない。一人ひとりに問いかける。魂をもって問いかける。「生きる」という物語を。表現された映像は、音楽と共に、あまりにも美しく柔らかく、見る者の心を捉えて離さない。何回も何回もじっくり見たい、群馬が誇る映画です。

モンテリオール世界映画祭審査員特別大賞  
◎サユーズムリトフィルム

## ノルシュテインによせて



あるときユーラ(ユーリ・ノルシュテインの愛称)がひろ美術館の集いで子どもたちに呼びかけた。「子どもたちよ、周迎をよく見てください。自然を、人々を、出来事を、そして自分を。そのなかの不思議を知るためには、本も読まなければ… 実は、これはみんな楽しい冒険…」それ以来、私はもっと注意深くなり、もっと考えるようになり、ユーラにとっても感謝している。だって、そこからもらうことは果てしないから…

ロシア語通訳・翻訳家 児島宏子

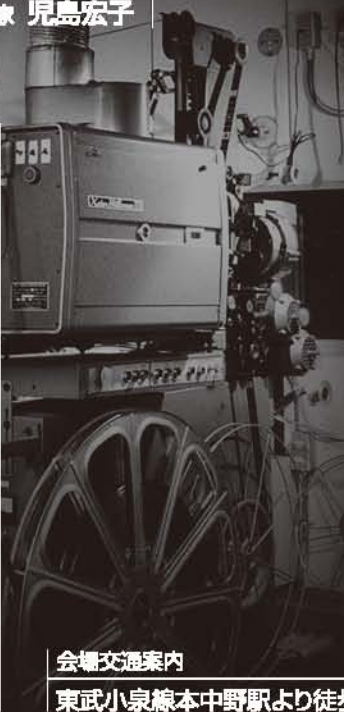
## 講演「映像教育の出発点」

「ノルシュテインの全作品は日本ですでに上映のための版權が切れている。ロシア語の翻訳家、児島宏子さんがノルシュテイン監督と著作権保有者のサユーズムリトフィルム所長から、直接、この邑の映画会のために許諾のサインを頂いて下さり、上映が可能になった。素晴らしいことである。だって、この日、ここ以外では、もうフィルムによる上映は見られないのだから。ノルシュテインの作品は私の「眠る男」とともに群馬での映像教育を進めていくための、大事なテキストだった。あらためてその意義を考えてみたい」

邑の映画会顧問 映画監督 小栗康平

### プロフィール

1945年前橋市生まれ。早稲田大学第二文学部演劇専修卒。81年の監督第一回作品「死の河」はモスクワ映画祭銀賞、米アカデミー賞外国映画賞ノミネートなど高い評価を受け、以後、84年「藤子のために」(仏ジュルジュ・サドゥール賞)、90年「死の舞」(カンヌ映画祭グランプリ・カンヌ1990/国際批評家連盟賞)、96年の東人口200万人記念映画「眠る男」(モンテリオール映画祭審査員特別大賞)、05年「理もれ木」(カンヌ映画祭特別上映作品)公開。著書「映画を見る眼」「時間をほどく」他



主催 □ 邑の映画会実行委員会/群馬県邑楽郡邑楽町275-2  
協力 □ 芸術文化NPO法人スピリットネットワークぐんま  
サユーズムリトフィルム(ロシア)  
ユーリ・ノルシュテイン(ロシア)  
群馬県  
協賛 □ 館林西ロータリークラブ/社会福祉法人 館邑会  
高源寺/恩林寺/大信寺/加藤医院  
後援 □ 邑楽町/邑楽町教育委員会/邑楽町立小中学校  
PTA連合会/邑楽町立幼稚園PTA連合会/邑楽町立保育園  
保護者会連絡協議会/風の子保育園保護者会/邑楽  
町文化協会/邑楽町公民館/おうらヤングプラザ/長柄公  
民館・各利用団体連絡協議会/群馬県/群馬県教育委員  
会/館林市教育委員会/板倉町教育委員会/明和町教育  
委員会/千代田町教育委員会/大泉町教育委員会/上毛  
新聞社/朝日新聞前橋支局/毎日新聞前橋支局/読売新  
聞前橋支局/産経新聞前橋支局/東京新聞前橋支局/  
NHK前橋放送局/群馬テレビ/エフエム群馬



会場交通案内

東武小泉線本中野駅より徒歩5分。北関東自動車道太田・桐生I.Cより20分。